



元気に挨拶 笑顔で挑戦 夢が広がる大北小

大北がよりの

<https://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>



学校評価の
令和5年9月29日
練馬区立大泉北小学校
校長 松井 貴子

1学期から2学期へのバトン 児童アンケートを大切に学校評価

校長 松井 貴子

児童が自分を振り返る力を付け、自分の課題に向き合い、周りの支えを活かしてよりよい自分、なりたい自分になる方法を学んで欲しいと思います。そこで本校では、令和4・5年度より練馬区の教育課題研究指定校として、「めあてに向って主体的に学び、考える児童の育成～キャリア教育を通して～」に取り組んでいます。

キャリア教育とは、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な能力等を育てる教育です。社会的・職業的自立に向けて必要な能力とは、下記のように文部科学省で定義されています。そして、本校ではこの4つの観点から、付けたい3つの力と焦点化しました。教育活動の様々な場面で子供たちは『なりたい自分』→実生活→振り返り」の学びを繰り返しています。

学校は学ぶところです。

キャリア教育で育成すべき力:基礎的・汎用的能力

◇人間関係形成・社会形成能力

例：他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ等

◇自己理解・自己管理能力

例：自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動等

◇課題対応能力

例：情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善等

◇キャリアプランニング能力

例：学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善等



自分のよいところを
見つける力



次のことを
考える力



みんなで学び
聴く・伝える力